

■ = = = = = 2010/10/15 = = = = = ■

◆◆ 建設トップランナー倶楽部 通信第9号 ◆◆

■ = = = = = ■

≪内 容≫

- 【 1 】 政府の経済対策に国交省関連予算が5000億円
- 【 2 】 P F I 協会が内閣府へ税制上の優遇措置を要望
- 【 3 】 特別枠査定へ「評価会議」が始動—来年度予算
- 【 4 】 生物多様性条約をめぐる一連の会議が名古屋で
- 【 5 】 地方建設専門紙の会ニュース

=====

【 1 】 政府の経済対策に国交省関連予算が5000億円

□政府が10月8日に閣議決定した経済対策には、国土交通省関連施策として、国土ミッシングリンクの解消や都市鉄道整備事業の推進、国際コンテナ戦略港湾のハブ機能強化など、社会資本整備の充実に関するものが数多く盛り込まれました。国交省分を含めた政府全体の公共事業関係費は約5000億円で、これに本年度中に契約するゼロ国債工事約2000億円と内閣府の地域活性化交付金約3000億円を合わせると、総額で1兆円程度となる見込みです。

=====

【 2 】 P F I 協会が内閣府へ税制上の優遇措置を要望

□日本P F I ・ P P P協会（植田和男理事長）は10月4日、新たなP F I手法である「コンセッション方式」の定着や活用促進を目指し、同方式で民間事業者に与えられる事業権を無形償却資産として認める税制上の優遇措置の新設を、内閣府の民間資金等活用事業（P F I）推進室に要望しました。

=====

【 3 】 特別枠査定へ「評価会議」が始動—来年度予算

□政府は10月13日、2011年度予算で1兆円超の特別枠に盛り込む事業の優先順位付けを行う「評価会議」（議長・玄葉光一郎国家戦略担当相）の初会合を開き、11月上中旬に各府省からの公開ヒアリングを実施することなどを確認しました。優先順位付けは、予算編成過程の透明化を図る「政策コンテスト」の一環。菅直人首相は会合で「開かれた形で政策の優先順位を付け、政治主導で予算を大胆に

組み替える」と述べました。

---

【 4 】 生物多様性条約をめぐる一連の会議が名古屋で開幕

□国連の生物多様性条約をめぐる一連の会議が10月11日、名古屋市の名古屋国際会議場で始まりました。遺伝子組み換え生物の貿易ルールを話し合う同日からのカルタヘナ議定書第5回締約国会議（MOP5）は160の締約国・地域が参加し、会期は15日まで。さらに18日から29日は、同条約締約国会議（COP10）が開かれます。生物多様性条約は、生態系の破壊や種の絶滅が進めば、自然の恩恵なしでは生きられない人類が減ぶとの危機感から1992年、気候変動枠組み条約と同時に「双子の条約」として採択された。現在193の国・地域が締約しています。

---

■地方建設専門紙の会ニュース

★国交省 経済対策で地域建設業の支援を強化 資金繰り支援策の拡充や成長分野への展開支援

<http://www.senmonshi.com/archive/01/0182BPQJB5DF2H.asp>

★総額5・1兆円の緊急総合経済対策が閣議決定 「地域活性化、社会資本整備、中小企業対策」など5本の柱の施策を実施

<http://www.senmonshi.com/archive/01/0182BPHN2H2U2A.asp>

★50年ごろには「既存インフラの維持・更新が困難」の懸念 国交省の意識調査

<http://www.senmonshi.com/archive/01/0181UK8Q2U2AXD.asp>

★公共事業「経済対策や地方への再配分の機能も否定せず」 馬淵国交相が就任会見

<http://www.senmonshi.com/archive/01/0181MK5fB5DF2H.asp>

---